



週報

Rotary
東京本郷ロータリークラブ 

2022-2023 年度 国際ロータリーテーマ 「イマジン ロータリー」

東京本郷ロータリークラブテーマ 「Reborn & Relax」

創立/平成 3 年 3 月 13 日 (1991 年)

事務局/〒 102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-9-6-905 電話: 03-3238-5350 FAX: 03-3238-5352

インターネットホームページ: <http://www.t-hongo-rc.gr.jp> E-mail: office@t-hongo-rc.gr.jp

例会: 毎週水曜日 12 時 30 分 例会場: ホテルメトロポリタンエドモント 電話: 03-3237-1111

〒 102-8130 東京都千代田区飯田橋 3-10-8

会長: 廣瀬英昭 副会長: 松岡 浩 会長エレクト: 栗原浩之 幹事: 三浦謙吾 会報委員長: 杉山和也

第 1436 回例会

2022 年 10 月 26 日発行 (No. 1380)

本日の例会 (10 月 26 日)

ビュッフェ例会

* 11 月 2 日は休会となります。

次回の卓話 (11 月 9 日)

「未 定」

紹介者 上田 晋会員

10 月 19 日 第 1435 回例会報告

卓 話

「201 カ国 202 人の夢×SDGs」

World Road CEO 市川 太一 様

紹介者 上田 晋会員

「内容を録音したデータが事務局にあります」



卓話をされる市川様

支援金が集まり、第 2830 地区〔青森県〕へ送金しました、と報告とお礼が届きましたので、お知らせいたします。

- 元米山奨学生 アイちゃんことカムピラー、アイラダーさんが以前、タイの米山学友会に所属し学生へ支援物資セットを贈る、というプロジェクトの担当となり、頑張っている様子をお伝えいたしました。

アイちゃんは現在も奉仕活動に励んでおられ、今回は小学校へのスポーツ器具や遊具の寄贈活動を頑張っている、と連絡をいただきましたので、お知らせします

幹事報告

- 来週 24 日 (月) 開催「5 クラブ会長幹事会」に廣瀬会長と幹事 三浦が出席いたします。
- ロータリー財団寄付、米山寄付についてのお願いです。

ここ数年、コロナ禍でもある為、寄付デスクを撤去しておりましたが、現在は復活しております。ロータリー財団には一部対象外がありますが、税額控除を受けられますので、ご検討をお願いします。

出 席

会員数: 47 名 出席数: 31 名 欠席数: 4 名
出席免除者数: 4 名 特別措置出席免除者数: 8 名
出席率: 88.57%

10 月 5 日修正後出席率: 89.19%

クラブゲスト: 市川太一様 (卓話講師)

会長報告

- 先日の例会でお願いしました「青森大雨災害支援金」募金ボックスに¥22,000 が集まり、地区へ送金いたしました。
この度、地区より全クラブから 2,503,000 円の

ニコニコBOX

* 上田 晋会員

市川太一さん、本日卓話を楽しみにしております。お忙しいところ、本当にありがとうございます。

* 長久保スミ子会員

久しぶりに出席できましたが、本日、早退させていただきます。ごめんなさい！

* 鈴木嘉男会員

家内の誕生日をお祝いいただき有難うございます。

* 篠崎陽一会員

10月10日に第2子が生まれました。母子ともに健康です。

ニコニコBOX	19,000円
累計	431,828円

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

「会員でありながら諸行事で欠席状態の 私儀について、言い訳をさせて下さい。」

近藤博隆会員

私は1995.6.28付で思いがけない事情があり入会させていただきました。

折角の機会を得ましたのでロータリークラブとは何なのかについて、私流の好奇心が励まされたのです。

振替って、その要点は次のような事柄です。

第1に人生活動には種々の仲間と共にあり、生計のより所、交際のあれこれ等からの人現関係があります。

第2にロータリー活動で、とりつくようになったのは、私として合点となったのは「四つのテスト」です。そして、その何かにつけて

「真実かどうか」

「みんなに公平か」

「好意と友情を深めるか」

「みんなのためになるかどうか」

が私の生活真情のより所になっているようです。

第3にわがクラブ活動に参加するための居所は神奈川県厚木市であり、会員の諸兄姉とは遠隔地の日常です。

第4にクラブ行事の機会は欠席状態ですが、深澤会員からはいつも元気な声で電話をいただき、負けずに元気で高齢元気で答えています。(注) 応えているのです。

第5に終わりの言い訳は、例会には出られないので、クラブ週報への投稿を自分なりにどんな内容で何を書くか、私案の励みです。

以上

(公財) ロータリー米山記念奨学会ニュース

【★ ハイライト よねやま271号 ★】

2022年10月13日発行

【今月のトピックス】

- ・米山月間の由来
- ・米山のルーツを訪ねる
- ・映像で体感する米山奨学事業
- ・寄付金速報 一年に1度の米山月間一
- ・夏のワークショップ in 浦項

《今月のピックアップ記事》

米山のルーツを訪ねる

9月24日から25日にかけて、第2790地区(千葉県)米山学友会主催で、「米山梅吉記念館探訪旅行」と題し、23人の学友・奨学生を含む27人が記念館を訪問しました。

ほとんどの奨学生・学友にとって初めての記念館訪問で、梅吉翁の生涯、奉仕の精神に触れ、奨学生からは「米山奨学生になることができて光栄」、「平和な社会を築くために、米山梅吉のような人になりたい」といった声が多くあったとのこと。

また、2日目には東京へ戻り、サントリーホールにて「交響詩・古事記『一粒萬倍 A SEED』五穀豊穡の物語」を観覧。

「万物は一つにつながっている」というテーマである物語を通じて、歴史の体験をしました。

同学友会副会長のグエン ビッグ フォンさん(2020-21 / 我孫子RC)は、「コロナ禍の影響でずっと活動が少なく、米山梅吉記念館も行ったことがなかったのも、奨学生の皆さんと同じく新鮮な気持ちで参加しました。

ロータリアンの方々と交流ができ、日本文化を勉強でき、新たな仲間もたくさんできました。米山奨学事業への理解、異文化理解について、より深まったと感じています。お世話になった皆さんへの感謝の気持ちでいっぱいです」と、述べました。

※全文は、こちらよりご覧ください。

http://www.rotary-yoneyama.or.jp/content/uploads/summary/highlight271_pdf.pdf

本日の例会にて、

ロータリー財団寄付	7名	69,000円
米山特別寄付	2名	20,000円

のご寄付をいただきました。
ありがとうございました。